

評価問題例

1 年表を見て、以下の各問いに答えなさい。

- (1) 年表の①～⑤にあてはまる語句や国名を答えなさい。
- (2) 日本本土への空襲が本格的に始まったのは、A～Dのどのできごとがきっかけですか。
- (3) 日本が東南アジア諸国に対して、建設を呼びかけた「大東亜共栄圏」とは、どのような考えか 100 字程度の文章で説明しなさい。

年代	おもなできごと
1939 9月	ドイツが (①) を侵攻する ……A
1940	(②) 三国同盟が結ばれる
1941 6月	ドイツが (③) に侵攻する
12月	日本がハワイ真珠湾を奇襲攻撃する ……B
1942 6月	ミッドウェー海戦で日本軍敗北 ……C
1943	(④) が降伏する
1944 7月	サイパン島が陥落、日本軍全滅 ……D
1945 5月	(⑤) が降伏する
8月	日本が降伏する ……E

年表を使って流れをとらえさせる。

2 戦時下の国民生活について、特徴的なことを3つの内容に箇条書きにまとめてみましょう。

参考資料として、「戦時下の米の減少」のグラフや「工場に動員された女子生徒」「集団疎開」等の写真を用意し、自分たちが調べたり、聞き取りをして得た情報などと合わせてまとめさせるとわかりやすい。

図や絵を効果的に活用して、自分の言葉でまとめさせる。

3 広島市にある「原爆ドーム」は、世界文化遺産に登録されています。なぜ、世界文化遺産に登録されたのでしょうか。自分の考えを「戦争」と「平和」の言葉を使って 200 字程度で書きなさい。

評価問題のポイント

評価問題 1

(1)は、年表から時代の流れをつかむ基本的な問題である。年表に用語をあてはめることにより、第二次世界大戦の開始から終戦までの大まかな経緯をつかんでいるかどうかをみる問題である。

(2)は、太平洋戦争の戦局の変化をとらえる問題である。地図を示し、地図上の位置でそれぞれの戦いの場所を確認する評価問題も効果的である。

(3)は、日中戦争や太平洋戦争を違った側面からとらえることをねらった。日本の東南アジア進出の意図が鉱産資源獲得にあったことも押さえておきたい。

評価問題 2

調べ学習や聞き取り調査を行う上で、調べたり聞き取ったことを自分の言葉でまとめて書き表すことは、言語活動の充実を図る上で必要不可欠なことである。また、事象を多面的にとらえさせるための手段として、このような作業を通して考えさせる問題は、とても有効である。

さらに、わかったことを発表させることにより「質の高い学力」が身に付いているかどうかを判断できる。

評価問題 3

終戦に至るまでの歴史の流れがとらえられているかどうか、戦争と平和に対する自分の考え方を含めて多様な意見を書かせる。これは、歴史学習で学んだ知識と、原爆ドームが世界文化遺産となった背景とを結び付けて、じっくりと思考することをねらった問題である。